【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【公開番号】特開2010-155579(P2010-155579A)
【公開日】平成22年7月15日(2010.7.15)
【年通号数】公開・登録公報2010-028
【出願番号】特願2008-335774(P2008-335774)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｒ　22/46　　(2006.01)
Ｂ６０Ｎ　 2/42　　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　22/26　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｒ　22/46
Ｂ６０Ｎ　 2/42
Ｂ６０Ｒ　22/26

【手続補正書】
【提出日】平成25年4月19日(2013.4.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車体または車両用シート１に設けたベルトリトラクター１１にシートベルト１０の一端を接続し、シートベルト１０の他端はアンカープレート１２に係止し、シートベルト１０の中間部にはインナーラップアンカー１４のインナーバックル１５に着脱自在に係合するタングプレート１３を設け、前記シートベルト１０のうち一端からタングプレート１３までをショルダベルト１６とし、タングプレート１３からアンカープレート１２までをラップベルト１７に構成し、前記左右のアンカープレート１２およびインナーラップアンカー１４は、車両用シート１が所定以上の加速度を受けた場合に作動するプリテンショナ装置２１に接続したワイヤーケーブル２０のインナー側ケーブル２０Ａとアウター側ケーブル２０Ｂによって略同時に夫々牽引されるように構成すると共に、前記インナーラップアンカー１４と前記インナー側ケーブル２０Ａとの間には前記インナーラップアンカー１４に掛かる荷重を分散支持する支持装置４０を設けた車両用シート。
【請求項２】
請求項１において、前記支持装置４０は、前記プリテンショナ装置２１とインナーラップアンカー１４との間のインナー側ケーブル２０Ａを移動側プーリー４１に掛け回すと共に、前記インナー側ケーブル２０Ａの端部は車体側の固定部Ｓに係止する係止構造により構成し、前記移動側プーリー４１はインナーラップアンカー１４に設け、車両用シート１を前後移動自在にするスライドレール５のアッパーレール３０に設けたステー４３にインナー側ケーブル２０Ａの移動方向を変更する固定側プーリー４５を設け、前記プリテンショナ装置２１からのインナー側ケーブル２０Ａを固定側プーリー４５と移動側プーリー４１とに掛け回し、インナー側ケーブル２０Ａの端部は前記ステー４３に係止し、前記プリテンショナ装置２１からのアウター側ケーブル２０Ｂを、スライドレール５のアッパーレール３０側に設けたアウター側ケーブル２０Ｂの移動方向を変更する固定側プーリー４５に掛け回し、アウター側ケーブル２０Ｂの端部は前記アンカープレート１２に係止し、前記ワイヤーケーブル２０のインナー側ケーブル２０Ａとアウター側ケーブル２０Ｂの何れ

か一方の他端は、一つのプリテンショナ装置２１のシリンダ２３内に設けたピストン２４に接続し、前記インナー側ケーブル２０Ａとアウター側ケーブル２０Ｂの何れか他方の他端はシリンダ２３に接続し、前記シリンダ２３とピストン２４とは互いに反力により反対に移動するように構成し、前記シリンダ２３は、該シリンダ２３の軸芯方向と前記ワイヤーケーブル２０のインナー側ケーブル２０Ａおよびアウター側ケーブル２０Ｂの夫々の移動方向とが略並行となるように配置して構成し、前記プリテンショナ装置２１の前記シリンダ２３は、前記車両用シート１の座席シート３の前側下方に、軸芯が左右方向となるように配置した車両用シート。

【請求項３】

請求項１において、前記支持装置４０は、前記プリテンショナ装置２１とインナーラップアンカー１４との間のインナー側ケーブル２０Ａを移動側プーリー４１に掛け回すと共に、前記インナー側ケーブル２０Ａの端部は車体または車両用シート１側の固定部Ｓに係止する係止構造により構成した車両用シート。

【請求項４】

請求項３において、前記移動側プーリー４１はインナーラップアンカー１４に設け、車両用シート１を前後移動自在にするスライドレール５のアッパーレール３０に設けたステー４３にインナー側ケーブル２０Ａの移動方向を変更する固定側プーリー４５を設け、前記プリテンショナ装置２１からのインナー側ケーブル２０Ａを固定側プーリー４５と移動側プーリー４１とに掛け回し、インナー側ケーブル２０Ａの端部は前記ステー４３に係止した車両用シート。

【請求項５】

請求項３において、前記プリテンショナ装置２１からのアウター側ケーブル２０Ｂを、スライドレール５のアッパーレール３０側に設けたアウター側ケーブル２０Ｂの移動方向を変更する固定側プーリー４５に掛け回し、アウター側ケーブル２０Ｂの端部は前記アンカープレート１２に係止した車両用シート。

【請求項６】

請求項５において、前記ワイヤーケーブル２０のインナー側ケーブル２０Ａとアウター側ケーブル２０Ｂの何れか一方の他端は、一つのプリテンショナ装置２１のシリンダ２３内に設けたピストン２４に接続し、前記インナー側ケーブル２０Ａとアウター側ケーブル２０Ｂの何れか他方の他端はシリンダ２３に接続し、前記シリンダ２３とピストン２４とは互いに反力により反対に移動するように構成した両用シート。

【請求項７】

請求項６において、前記シリンダ２３は、該シリンダ２３の軸芯方向と前記ワイヤーケーブル２０のインナー側ケーブル２０Ａおよびアウター側ケーブル２０Ｂの夫々の移動方向とが略並行となるように配置して構成した車両用シート。

【請求項８】

請求項１または請求項３または請求項４または請求項５または請求項６または請求項７において、前記プリテンショナ装置２１の前記シリンダ２３は、前記車両用シート１の座席シート３の前側下方に、軸芯が左右方向となるように配置した車両用シート。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

請求項１の発明は、車体または車両用シート１に設けたベルトリトラクター１１にシートベルト１０の一端を接続し、シートベルト１０の他端はアンカープレート１２に係止し、シートベルト１０の中間部にはインナーラップアンカー１４のインナーバックル１５に着脱自在に係合するタングプレート１３を設け、前記シートベルト１０のうち一端からタングプレート１３までをショルダベルト１６とし、タングプレート１３からアンカープレ

ート１２までをラップベルト１７に構成し、前記左右のアンカープレート１２およびインナーラップアンカー１４は、車両用シート１が所定以上の加速度を受けた場合に作動するプリテンショナ装置２１に接続したワイヤーケーブル２０のインナー側ケーブル２０Ａとアウター側ケーブル２０Ｂによって略同時に夫々牽引されるように構成すると共に、前記インナーラップアンカー１４と前記インナー側ケーブル２０Ａとの間には前記インナーラップアンカー１４に掛かる荷重を分散支持する支持装置４０を設けた車両用シートとしたものである。

請求項２の発明は、前記支持装置４０は、前記プリテンショナ装置２１とインナーラップアンカー１４との間のインナー側ケーブル２０Ａを移動側プーリー４１に掛け回すと共に、前記インナー側ケーブル２０Ａの端部は車体側の固定部Ｓに係止する係止構造により構成し、前記移動側プーリー４１はインナーラップアンカー１４に設け、車両用シート１を前後移動自在にするスライドレール５のアッパーレール３０に設けたステー４３にインナー側ケーブル２０Ａの移動方向を変更する固定側プーリー４５を設け、前記プリテンショナ装置２１からのインナー側ケーブル２０Ａを固定側プーリー４５と移動側プーリー４１とに掛け回し、インナー側ケーブル２０Ａの端部は前記ステー４３に係止し、前記プリテンショナ装置２１からのアウター側ケーブル２０Ｂを、スライドレール５のアッパーレール３０側に設けたアウター側ケーブル２０Ｂの移動方向を変更する固定側プーリー４５に掛け回し、アウター側ケーブル２０Ｂの端部は前記アンカープレート１２に係止し、前記ワイヤーケーブル２０のインナー側ケーブル２０Ａとアウター側ケーブル２０Ｂの何れか一方の他端は、一つのプリテンショナ装置２１のシリンダ２３内に設けたピストン２４に接続し、前記インナー側ケーブル２０Ａとアウター側ケーブル２０Ｂの何れか他方の他端はシリンダ２３に接続し、前記シリンダ２３とピストン２４とは互いに反力により反対に移動するように構成し、前記シリンダ２３は、該シリンダ２３の軸芯方向と前記ワイヤーケーブル２０のインナー側ケーブル２０Ａおよびアウター側ケーブル２０Ｂの夫々の移動方向とが略並行となるように配置して構成し、前記プリテンショナ装置２１の前記シリンダ２３は、前記車両用シート１の座席シート３の前側下方に、軸芯が左右方向となるように配置した車両用シートとしたものである。

請求項３の発明は、前記支持装置４０は、前記プリテンショナ装置２１とインナーラップアンカー１４との間のインナー側ケーブル２０Ａを移動側プーリー４１に掛け回すと共に、前記インナー側ケーブル２０Ａの端部は車体または車両用シート１側の固定部Ｓに係止する係止構造により構成した車両用シートとしたものである。

請求項４の発明は、前記移動側プーリー４１はインナーラップアンカー１４に設け、車両用シート１を前後移動自在にするスライドレール５のアッパーレール３０に設けたステー４３にインナー側ケーブル２０Ａの移動方向を変更する固定側プーリー４５を設け、前記プリテンショナ装置２１からのインナー側ケーブル２０Ａを固定側プーリー４５と移動側プーリー４１とに掛け回し、インナー側ケーブル２０Ａの端部は前記ステー４３に係止した車両用シートとしたものである。

請求項５の発明は、前記プリテンショナ装置２１からのアウター側ケーブル２０Ｂを、スライドレール５のアッパーレール３０側に設けたアウター側ケーブル２０Ｂの移動方向を変更する固定側プーリー４５に掛け回し、アウター側ケーブル２０Ｂの端部は前記アンカープレート１２に係止した車両用シートとしたものである。

請求項６の発明は、前記ワイヤーケーブル２０のインナー側ケーブル２０Ａとアウター側ケーブル２０Ｂの何れか一方の他端は、一つのプリテンショナ装置２１のシリンダ２３内に設けたピストン２４に接続し、前記インナー側ケーブル２０Ａとアウター側ケーブル２０Ｂの何れか他方の他端はシリンダ２３に接続し、前記シリンダ２３とピストン２４とは互いに反力により反対に移動するように構成した両用シートとしたものである。

請求項７の発明は、前記シリンダ２３は、該シリンダ２３の軸芯方向と前記ワイヤーケーブル２０のインナー側ケーブル２０Ａおよびアウター側ケーブル２０Ｂの夫々の移動方向とが略並行となるように配置して構成した車両用シートとしたものである。

請求項８の発明は、前記プリテンショナ装置２１の前記シリンダ２３は、前記車両用シ

ート１の座席シート３の前側下方に、軸芯が左右方向となるように配置した車両用シートとしたものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
請求項１および請求項２の発明では、左右のアンカープレート１２およびインナーラップアンカー１４とを、略同時にシートベルト１０が乗員を拘束させる方向に移動させることができ、しかも、支持装置４０によりインナーラップアンカー１４に掛かる支持荷重を充分に確保して、着座者の拘束状態の姿勢を安定させ、車両用シート１に拘束させる拘束性を向上させることができ、しかも、安価に提供できる。
請求項３の発明では、支持装置４０を移動側プーリー４１とインナー側ケーブル２０Ａの端部の車体または車両用シート１側の固定部Ｓへの係止構造により構成したので、極めて簡素でありながら、インナーラップアンカー１４の支持荷重を充分に確保でき、頗る合理的構成にできる。
請求項４の発明では、プリテンショナ装置２１と移動側プーリー４１との間に固定側プーリー４５を設けているので、インナー側ケーブル２０Ａの移動を円滑にでき、作動の確実性を向上させることができる。
請求項５の発明では、固定側プーリー４５はスライドレール５に設けているので、インナー側ケーブル２０Ａとアウター側ケーブル２０Ｂの移動を円滑にでき、シートベルト１０の緊張を迅速に行って、乗員の車両用シート１への拘束を確実性を向上させることができる。
請求項６の発明では、一つのプリテンショナ装置２１のシリンダ２３とピストン２４との互いの反力を利用してインナー側ケーブル２０Ａとアウター側ケーブル２０Ｂの両方を牽引するので、簡素な構成で、コストの上昇を最小限にして、着座者の着座姿勢を変えずに、車両用シート１への拘束性を向上させることができる。
請求項７の発明では、プリテンショナ装置２１は、シリンダ２３を移動自在に設置することにより、一つのシリンダ２３とピストン２４との互いの反力を利用してインナー側ケーブル２０Ａとアウター側ケーブル２０Ｂの両方を牽引することができる。
請求項８の発明では、プリテンショナ装置２１は、車両用シート１の座席シート３の前側下方に配置しているから、この車両用シート１の後方にある車両用シート１の着座者の脚入れ性を犠牲にせず、着座者拘束機構を設置でき、他方では、プリテンショナ装置２１の作動を良好かつ確実にできる。